



no.1

CARE WORKER

介護職 / 介護福祉士



PROFILE

社会福祉法人 カメリア会
特別養護老人ホームカメリア

たがわ・みなこ

田川 美奈子さん (24歳)

田川さんの専門学校時代

出身校：日本福祉教育専門学校 / 介護福祉学科
学んだこと：介護福祉学科のカリキュラム(社会保障制度、高齢者に対する支援と介護保険制度、介護の基本、コミュニケーション技術など)
好きだった科目、得意だった科目：座学全般、週1回の介護実習

田川さんの社会人生活

今の仕事：介護職(介護福祉士資格あり)
仕事の概要：特別養護老人ホーム*1のショートステイ*2サービス担当
仕事の経験年数：4年
働き方：早番、遅番、夜勤の3交替制。休日休暇はシフト制で随時取得
日々の息抜き：専門学校時代の仲間と一緒に旅行すること



私の選択

16歳

高校入学
東京都立忍岡高等学校・生活科学科。「給食の時間が苦手な子どもが、喜んでくれる給食をつくりたい」と思い、栄養士の資格取得と調理師になることを目標に入学。

20歳

専門学校卒業・就職
2年間の勉強を終えて、介護福祉士の資格(国家資格)を取得し、卒業。社会福祉法人 カメリア会 特別養護老人ホームカメリアに、介護職として入職。

18歳

高校卒業・専門学校入学
3年間、調理の勉強(栄養素の計算や献立づくりなど)をしたものの、「細かく計算されたお料理づくりは自分に合わない」と感じ、調理師になることをやめて就職を検討する。看護師の姉の影響で「資格を取得しておく方が将来自分のためになる!」と考えて、日本福祉教育専門学校・介護福祉学科に入学。

現在

今の仕事
ショートステイを利用するご利用者(お客さま)のケアを行う。

仕事のおもしろさ

介護・支援の方法は十人十色。利用者の数だけ、覚えることはたくさん!

私は特別養護老人ホームで、ショートステイという短期的に入所いただくご利用者の介護・支援サービスを担当しています。ご利用者は認知症などで介護を必要とする高齢の方々です。また短期で人が入れ替わるので、一人ひとりの状況を把握し、それぞれの方に適したケアを行うのが大変。ですがその分、介護職としての経験値が上がるので、やりがいがあります。認知症の方が再入所にいらした際、私の名前を覚えていてくれたりすると、やっぱりうれいんです。また、一緒に働く先輩たちとは家族のような関係。仕事があまくないと感じたとき、なぐさめ、励ましてくれます。介護職としての働きがいと、よい仲間がいるからこそその働きやすさが、この仕事のよいところなんです。



*1 特別養護老人ホーム：一人で生活することが難しいお年寄りの方が入居して、日常生活を送る施設。
*2 ショートステイ：30日間までの短期間、施設で食事や入浴などの支援を受けるサービス。

Q AND A



Q.なぜ介護福祉学科を選択？

A. 介護は将来困らない分野だと思うから。少子高齢化の時代、介護職は要になる職業だし、やりがいのある介護の仕事をずっと続けていきたいです。資格がすべてだとは思いませんが——**国家資格を取るということは、そのために基礎をきちんと学ぼうとするし、実習を繰り返し受けるので仕事になじみやすく、お給料面でもちょっと得できる(笑)と思います。**

Q.介護技術の差は、学生時代にできてしまう？

A. 介護技術は、**学生時代に完璧にできなくても働き始めてから経験を積んでいけばよいと思います。**ショートステイはご利用者の入れ替わりが多いので、新規の方が来たときは「以前ご利用になられたあの方と麻痺しているところが似ているから、同じようにやってみようか」など臨機応変に考えます。こういった**“応用力”を支える基礎を学生時代に鍛えておくと、その後で差が出てくると思います。**

Q.介護の実習って何をやるの？

A. デイサービスセンターや障害者福祉施設、特別養護老人ホームに行き、職員の方に付いて、**ご利用者のケアをお手伝いしました。**私は移乗介助(ベッドから車いすなどへの移動)が苦手で、実習のときにひたすらその練習をさせていただきました。ご利用者さまには申し訳なかったのですが、そこで鍛えていただけたのかもしれないです。

Q.「専門学校時代にもっとやっておけばよかった」と思うことは？

A. 私は緊張しがちで、実習先では、いつもカチンコチン。もっと吸収できるものは吸収するぞ！**くらいの意気込みで挑む勇気があればよかった**など。学生時代は余裕がなく、音楽療法や手話コースなど、ほかの授業を受けなかったんです。**介護福祉士だけでなく、よりご利用者さまのお役に立てるよう介護職につながるほかの勉強もすればよかった**など、仕事を始めてから感じています。

進路選択をする高校生の皆さんへ

実務につながる学びと資格取得なら専門学校が近道！

専門学校のよい点は、設備が充実していることと、実習先とのつながりが強いこと。ベッドの台数が多いので、介護職の大事な仕事である移乗介助(ベッドから車いす、車いすから浴槽などへ乗り移るお手伝い)の練習が十分できるし、集中して勉強できるカリキュラムだと思います。また実習先とつながりが強く、卒業生がたくさん働いているので、実習中も**“学校の先輩”**にいろいろ教えてもらうことができます。**実務に直結する学びをしたい、手に職・資格を身に付けたいという方は、専門学校が合うのでは**と思います。



MEETING...

TEAMWORK!

Q.仕事で悩んだりへこんだりすることは？

A. 認知症の方にうまく“声かけ”ができなくて、その方がパニックに陥ったとき、**自分が情けなくなり、泣いてしまったこともあります。**でも職場のリーダーに話を聞いてもらい、立ち直ることができました。

Q.仕事は教えてもらえる？

A. 就職先にもよると思いますが、**私の場合は入社して約半年間、先輩がついて指導してくれました。**その後は一人前として仕事を任されています。特にショートステイは短期間でご利用者が入れ替わり、個々にケアの方法も異なるので、覚えることがたくさんありました。また、初めて夜勤を任せられたときは、**何か起きたら自分一人では対処してはならないというプレッシャーと責任感の重さで、心臓が苦しくなるほどでした。**



Q.これからの目標は？

A. 一番は、**ショートステイのご利用者が「またここに来たい！」と楽しみに思ってください**ることです。それからご利用者と一緒に働く**ユニットの仲間にも頼られる存在**になりたいと思います。今は一緒に働いている仲間が大好きだし、働きやすいので、職場を替わりたいたいと思いませんが、いつかデイサービスやグループホームの仕事もして、**介護職としての経験を増やしていきたい**ですね。

HAND MADE!



社会福祉法人
カメラア会

特別養護老人ホーム
カメラアショートステイ
カメラアグループホーム
カメラアデイサービスセンター
カメラア

HER WORKPLACE!

